

気象レーダー作業班にて検討対象とする技術的条件(諸元)の分類

令和5年1月26日

本作業班にて検討対象とする技術的条件(諸元)の分類

	9.7GHz帯	9.4GHz帯	5GHz帯
PAWR型	<ul style="list-style-type: none"> ・空中線電力：10kW以下 ・最大EIRP：110dBm以下 ・ビーム幅：方位角方向1.2度以下 (例 MP-PAWR等) 	<p>※現時点で当該レーダーの開発計画がないため、本作業班での検討対象外とする。</p>	<p>※研究段階にあるため、将来的な検討対象とする。</p>
高性能型	<p>※現時点で、新たな高度化・共用検討を実施する要望がないため、本作業班での検討対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空中線電力：10kW以下 ・最大EIRP：110dBm以下 ・ビーム幅：1.2度以下 (例 X-MP、自治体等) 	<p>※現時点で当該レーダーの開発計画がないため、本作業班での検討対象外とする。</p>	<p>※現時点で、新たな高度化・共用検討を実施する要望がないため、本作業班での検討対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空中線電力：10kW以下 ・最大EIRP：115dBm以下 ・ビーム幅：1.2度以下 (例 国交省レーダ雨量計、気象庁一般気象レーダー、気象庁空港気象ドップラーレーダー等)
汎用型	<p>※技術的条件案策定済みで制度化手続き中のため、本作業班での検討対象外とする。</p> <p>—参考—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空中線電力：400W以下 ・最大EIRP：92dBm以下 ・ビーム幅：4.5度以下 (例 民間気象会社、メーカー、自治体等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・空中線電力：400W以下 ・最大EIRP：92dBm以下 ・ビーム幅：4.5度以下 (例 民間気象会社、メーカー、自治体等) 	

※5GHz帯については“高性能型”、“汎用型”という分類はしていない。

※X帯(9.7/9.4GHz帯)については、上表の技術的条件に加え、X帯気象レーダーからのBS/CS放送受信設備への干渉軽減に関する検討を行う。

※ PAWR型：フェーズドアレイ型(Phased Array Weather Radar)。MP-PAWRなどのフェーズドアレイアンテナを有する大型のレーダーを想定。

高性能型：X-MPなどの大型のレーダーを想定。

汎用型：民間等が運用する小型のレーダーを想定。

※気象研究目的等の実用化を想定していないレーダーの諸元は含まない。